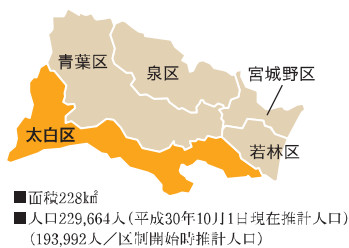


仙台市各区のあゆみ [太白区]



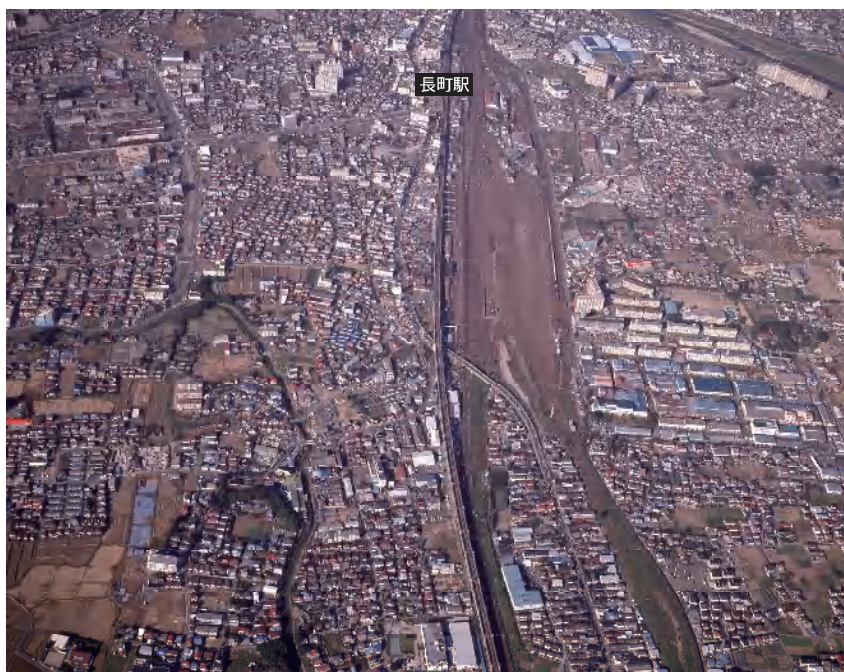
■面積228km²
■人口229,664人(平成30年10月1日現在推計人口)
(193,992人/区制開始時推計人口)

● 太白区の概要

仙台市の南西部に位置し、名取川に沿って東西に帯状に広がった形状をしています。面積は228km²、人口約22万人で面積、人口とも青葉区に次ぐ規模です。区内には市内の4割を超える埋蔵文化財が集中しており、富沢遺跡や郡山遺跡等の大規模な埋蔵文化財の存在も区の大きな特徴となっています。JR長町駅周辺を中心とした市南部の中心地である「南部拠点地域」、その南側で、JR南仙台駅周辺を中心に宅地化が進む平野部とその背後に優良農地が広がる「名取川右岸地域」、八木山をはじめとした丘陵部に住宅団地が連なる「丘陵住宅地域」、豊かな居住環境と山あいの緑と田園の残る「太白山周辺地域」、そして二口峡谷をはじめ豊かな自然と温泉に恵まれた「秋保地域」からなっています。

● 太白区のあゆみ

昭和63年 1988年 名取郡秋保町を仙台市に編入
平成元年 1989年 仙台市の政令指定都市移行により太白区誕生
平成8年 1996年 地底の森ミュージアム開館
平成11年 1999年 太白区文化センター開館
平成18年 2006年 仙台郡山宮衛遺跡群が国史跡に指定
平成21年 2009年 秋保の田植種がユネスコ無形文化遺産に登録
平成25年 2013年 あすと長町土地区画整理事業完了
平成26年 2014年 仙台市立病院があすと長町に移転・開院



平成元年 1989年撮影（「伸びゆく宮城」河北新報社より）

長町駅周辺

当時の写真には、旧国鉄貨物ヤードの広大な跡地のほか、かつて立地していた工場等が写っています。貨物ヤードの廃止により数十ヘクタールの大規模空地が発生したことを契機に、平成9年から市民協働により進められた「あすと長町土地区画整理事業」は平成25年に完了、仙台都市圏南部の新たな広域拠点として大きく生まれ変わりました。

富沢駅周辺

富沢駅周辺地区は、駅周辺に良好な市街地形成を図るため平成7年より土地区画整理事業に着手し、長い歳月をかけ平成28年に基盤整備を終了しました。



昭和62年1987年撮影

■ 仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業



整理前の状況(平成6年1月)



整理後の状況(平成28年1月)



平成8年 1996.11
地底の森ミュージアム開館